

第7回 江東区 みどりの基本計画改定委員会・幹事会 議事録

日 時	令和2年1月29日(水) 15:00~16:30
場 所	江東区役所7階 第71・72会議室
出席者	<p>〈改定委員会委員〉</p> <p>■学識経験者 島田正文 委員長 (日本大学 生物資源科学部 暮らしの生物学科特任教授) 柳井重人 副委員長 (千葉大学 大学院園芸学研究科准教授) 佐藤留美 副委員長 (特定非営利活動法人NPO birth 事務局長)</p> <p>■区民代表 萩原かほる 委員 (江東区立小学校 PTA 連合会副会長) 梅谷真美 委員 (区民応募) 西島和 委員 (区民公募)</p> <p>■行政 大塚善彦 委員 (政策経営部長) 林英彦 委員 (環境清掃部長) 長尾潔 委員 (都市整備部長) 並木雅登 委員 (土木部長) 武越信昭 委員 (教育委員会事務局次長)</p> <p>※欠席：関口朗太 委員 (江東区立中学校 PTA 連合会会長)</p> <p>〈改定委員会幹事会委員〉 西尾基宏 幹事 (営繕課長) 吉野正則 幹事 (温暖化対策課長 (環境清掃部参事)) 老川和宏 幹事 (都市計画課長 (都市整備部参事)) 中尾英樹 幹事 (道路課長) 仁平剛男 幹事 (施設保全課長) 谷川寿朗 幹事 (学校施設課長) 伊藤秀一 幹事 (指導室長)</p> <p>※欠席：油井教子 幹事 (企画課長) 高垣克好 幹事 (計画推進担当課長 (政策経営部参事))</p> <p>〈事務局〉 管理課：石井課長、七條係長、八巻氏、吉木氏 河川公園課：大野課長、鈴木係長、檜原氏 PCKK：松延、谷、酒本、福永</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> • 次第 • 資料1-1：第6回江東区みどりの基本計画改定委員会・幹事会における意見と対応(概要) • 資料1-2：第6回江東区みどりの基本計画改定委員会・幹事会議事録 • 資料2-1：パブリックコメント実施結果(概要) • 資料2-2：江東区みどりの基本計画(案)
次第	<p>1. 議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 第6回改定委員会・幹事会における意見と対応について 2) パブリックコメント実施結果及び江東区みどりの基本計画(案)の確認 3) 江東区長へ改定案の報告 4) その他

<議事概要>

1. 議題

1) 第6回改定委員会・幹事会における意見と対応について

事務局から資料1-1、資料1-2に基づき、第6回改定委員会・幹事会における意見と対応について説明した。

○委員長：私の方で確認させていただき、ホームページに掲載している。

2) パブリックコメント実施結果及び江東区みどりの基本計画（案）の確認

事務局から資料2-1、資料2-2に基づき、パブリックコメント実施結果及び江東区みどりの基本計画（案）について説明した。

○副委員長：パブリックコメントで非常に多くの意見をいただいている印象を受ける。様々な自治体でパブリックコメントを実施しているが、これだけの件数が出てくることは私自身の記憶にはない。広報の効果や区民の関心の高さなど、どのようなことが要因と考えられるか。いつもこれほど多くのご意見をいただくのか。

⇒事務局：事務局としてもこれほど多くの意見をいただくとは思っていなかった。内容を確認すると、CIG 区民サポーター会議に参加されている方々やみどりネット KOTO に所属されている方々から区報のはがきではなく、ホームページや FAX などでご意見をいただいた。生物多様性チーム江東からも委員長及び副委員長に提出された要望書もあり、そうしたものを含めた意見数である。実際には66人のうち40人程度からは単一のご意見をいただいております、それ以外は関係団体の方々からの意見が多かった。

○委員長：同時進行している長期計画や都市計画マスタープランではどうか。

⇒委員：現在、新長期計画を策定しており、パブリックコメントも件数的にはいただいている。江東区の特徴として、区報を全戸配布しており、その効果もあるのではないかと。区報を区民の皆様が目にする機会が多いのかと思う。

⇒委員長：区民も今後の江東区に関心をお持ちなのかと思うので、そのような意見を大切にしていきたい。

○副委員長：非常に多くの意見をいただいております、具体的な意見が多いと感じた。生物多様性に関する意見が多く、全体で20件程度いただいている。18頁の「生物多様性植栽ガイドラインの作成」や「生物多様性に配慮した計画を進める」などのご意見に対し、区の考え方として緑化指導の内容を充実させるとしている。内容の充実も大切であるが、ご意見の意図として、「充実することで生物多様性を向上させるのか」や「何に基づく植栽計画となるのか」などを疑問に思われているから、そのようなご意見をいただいたと思う。「充実する」や「検討する」という対応では進展がなく、ガイドラインのようなものを検討するという記載をいただくと前進するのではないかと。また、「エコロジカルパークやビジターセンターなど生物多様性の拠点をつくる」というご意見に対し、「江東区環境基本計画で生物多様性地域戦略について検討します」としているが、個別具体的な検討がどのように進むのか。進め方については具体的に記載してもらえると分かりやすい。

⇒事務局：パブリックコメントでの区の考え方については、関係所管に意見照会して、とりまとめたものである。基本計画という性格上、具体的な記述は難しい。なお、環境基本計画も改定中であり、生物多様性については、「自然との共生」という項目で記載している。

⇒副委員長：環境基本計画とお見合い状態で10年経過してしまうことを懸念している。

⇒委員：環境基本計画で「自然との共生」という項目を設けている。内容としては、生物多様性の保全について、現在取り組んでいる事業を網羅的に記載している。個別ものを今後進展させていくことや5年後の見通しについては、一つ一つ進めていくという状況である。

⇒副委員長：環境基本計画ではみどりの基本計画で定めるところのCIG推進会議等の進行管理を行う組織を設けているのか。

⇒委員：生物多様性に特化した推進会議等はないが、環境計画全体に関する環境審議会は設けている。

⇒副委員長：全体の180件の意見数に対して、生物多様性関連のご意見が20件というのは、意見数としては多いと思うので、明確にさせていただけると納得性が高い。

⇒委員：環境基本計画において、具体的な進捗状況について1年ごとに確認しながら進め、環境白書のような形式で進捗状況等については示していく。

⇒委員長：部の垣根を越えて、引き続き関心を持っていただきたい。

○委員長：リスクマネジメントに関しても具体的なことは記載されていない。本計画は、あくまでも基本計画であるので、押し並べて実施計画レベルの内容までは記載していない。

○委員：計画自体に対して特に意見はない。資料も充実しており、今後の実現に向けてよい計画書になっていると思う。86頁の図を見ると危機感を感じるので、実現していけるとよい。パブリックコメントの意見を多くいただいたということは、区民の関心が高く、みどりを増やしてほしいという考えである。ぜひ具体化していただき、今後も区民の声を反映しながら進めていただけるとよい。

○委員長：空白頁が多いというご指摘もあり、体裁も整えていただいた。当初、資料編は別冊の予定だったが、頁数も収まったので合冊となった。これに概要版が別途つくのか。

⇒事務局：その通りである。

○副委員長：66頁に「CITY IN THE GREEN 公共緑化事業（公園内接道緑化）」という事業が新たに加わったが、表現として公園接道部の積極的な緑化となっており、公園内接道緑化と公園接道部があるが、場所的には公園の外周のことか。

⇒事務局：公園と道路の境界部を緑化するという意味合いである。

⇒委員長：誤解が生じないように修正していただきたい。

⇒事務局：修正する。

○委員長：行間や頁数等を詰めた結果、図が小さくなり分かりづらい。

⇒委員：59頁の「浸水対策のイメージ」の図が小さく感じる。

⇒事務局：イメージ自体が分かりにくいので、差し替えも含めて検討する。

⇒委員長：表紙の写真の場所を記載していただきたい。

⇒事務局：場所については記載していないので、「仙台堀川公園」と記載する。

⇒委員長：一番奥の中心部分が江東区のマークで隠れているが何があるのか。

⇒事務局：広場のようになっている。

⇒副委員長：自転車に乗っているこどもの顔を隠すためにこのようにしているのではないか。

⇒事務局：写真やイラスト、イメージ図等の分かりにくい点に関して、事務局で再度見直しを行う。

3) 江東区長へ改定案の報告

○山崎江東区長：みどりの基本計画の改定に当たっては、長期間にわたり皆様のお力をお借りし、改定案が完成した。「みどりの中の都市」にすべく、区長就任以来、力を入れてみどりも増えてきたと思うが、まだ他都市に比べれば十分ではない。今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されるが、海外から来た方々に、「江東区はみどりや水辺が多くて良い」というような評価をいただけるよう、みどりの量だけでなく、区民の方々がみどりを育む心をしっかりと持てる地域社会をつくっていければと思っている。出来上がっている都市にみどりを増やすということは、難しい課題が山積していると思う。昭和 20 年の空襲で焼け野原になった当時よりみどりは充実したが、シンガポールと比べると及びもつかない量である。緑化については、住民の方々の参画も得ながら頑張ってきていただいている。それをさらに充実、発展させていかなければならないと思っている。皆様のご意見を参考にしながら、行政の立場からも予算も含めて努力していく次第である。今回の改定にあたり、皆様にお力添えを賜りましたことを心からお礼を申し上げる。

○委員長：委員の皆様と 2 年間議論してきた。区長から力強いお言葉を頂戴し、至らない点や不十分な点もあるかと思うが、実行していただけると嬉しい。

4) その他

○事務局：本日配布している計画書（案）について、事務局で誤字・脱字等も含めて最終的に調整し、ご指摘いただいた図や写真、イメージ図等についても再度見直し、区議会に報告後、ホームページで公表となる。製本した計画書については、各委員の皆様へ郵送する予定である。本日の議事録については、皆様にご確認いただき、取りまとめたものを委員長にご確認いただき、ホームページ等に公表させていただく。

【各委員から一言】

○委員：弁護士会で市民参加の勉強会を検討しているが、地元のことについて考え、勉強できてありがたかった。このような取組を継続していただきたい。また、今後は議事録等に名前は載せた方がよいと思う。行政の議事録に発言者名が載っていないのは寂しいと感じるので、ご検討いただければと思う。

○委員：行政の皆様とお話する機会をいただき、自分やその周りの方々の意見を思い浮かべながら発言させていただいた。若年層の意見が反映されていないように感じる。パブリックコメントの意見にあった「CIG マンション」の発想は個人的にはとても気に入った。こうしたアイデアを持っている人が多くいると思う。区民は考えていることがあっても意見を述べづらく、反映されるかも分からない。私はこの委員会に参加させていただいて反映できると実感した。そのような機

会が CIG を通じて実現してもらえるとよい。

- 委員：一保護者として、PTA 代表として、そして母として意見を述べることができ、とても勉強になりありがたい機会であった。10 年間の計画の中で、子育てをしながら自分の関わったみどりの基本計画でどれだけまちが変わるのかを見ていきたい。
- 委員：教育委員会としては学校とのつながりが非常に深い。ポケットエコスペースが学校にあるとカエルやおたまじゃくしが泳ぎ回るのが観察することができるなど、こどもたちがみどりや生き物に触れることができ、みどりを愛し、生き物を慈しむ機会になる。
- 委員：様々な視点でみどりの活用を考えるよい機会になった。
- 委員：計画については内容も充実したものが完成した。行政としては、予算を付けて動かすというスタンスである。今回は、CIG 公共緑化事業が新規に位置付けられ、シンボルツリーや公園の接道緑化など何件か出ている。地域として大々的に実施していただきたい。
- 委員：生物多様性について環境基本計画において答えを出すという議論があったが、区全体のことなので調整していく必要がある。今起こっている環境問題では、温暖化対策が喫緊の課題となっており、適応策については全庁的に検討していく必要がある。
- 委員：今年度、並行して新長期計画を策定している。江東区のみどりと水辺は区民にとって貴重な財産であり、着実に進めていくのが行政の役割である。非常に苦勞して改定していただいたので、今後はいかに実現していくかが行政あるいは区民を巻き込んでいくことが私たちの仕事である。パブリックコメントを含め、多くの方々に参加していただき、江東区としては区民の皆様にみどりの基本計画のみならず、区政に参加していただきたい。これを契機に様々な場で協力していただきたい。
- 委員：本日の冒頭のパブリックコメントの件数について、他の所管の無電柱化推進計画の策定ではパブリックコメントの意見が 5 件しかなかった。みどりの基本計画については、区民の関心が高く、また、区民が様々な意見をお持ちの分野かと思う。これがスタートラインだと思っており、施策の具体化や庁内の連携、区民の声の反映などについては、推進会議の中で来年度以降、走りながら考えていく。
- 副委員長：私たちが述べたご意見を整理して反映することは非常に大変な作業である。その一つ一つの意見を真摯に向き合って反映していただいたと思っている。みどりとは様々な部署にまたがっており、自治体によってはその調整は大変である。各部署の部長が委員会に参加されている環境が素晴らしかった。委員長も皆様をコーディネートしていただき、発言しやすい環境をつくっていただいた。人がつながるとみどりにつながると思っている。江東区が他区と異なる点は、人情味があり、下町の雰囲気もあって大好きな区である。江東区らしさがみどりの基本計画を推進する上で非常に大きな力になる。今後の進行管理の推進会議に期待している。よりみどり豊かな江東区になればよいと思っている。

○副委員長：委員会に各部署の部長が参加している会議はここにしかないと思う。多くは、庁内会議での意見を事務局から聞かされるので、各部署の部長に直接意見が伝わるやり方はよいと思う。市民の方々の生の声を聞ける機会は少なく、はっと胸を突かれることもあった。10年前にも策定委員会に参加させていただき、SDGsやグリーンインフラ、ストックの活用など、新しい概念を押し出そうとするところは出てきている。多くのパブリックコメントでの意見をいただいたということもあるが、みどりを上手く生活の中で融合させることはライフスタイルと関係している。みどりを取り入れることで快適な生活ができることが広まっているように感じる。みどりを保全するだけでなく、快適な生活が待っているということが大切である。10年前と大きく異なるところは、推進会議をつくることである。前は計画を策定して終わったので、推進会議で進行管理を行うことが大切である。進行管理というと堅苦しくなってしまう、事業と指標があり、それに対する達成度という印象を持っていると思う。進行管理としているが、毎年実施するとのことなので、走りながら考え、考えながら実施するなど、このような意見交換をする場であればよいと思う。

○委員長：区長が就任以来、みどりの中の都市を進めてこられた。区長からも「予算も含めて」おっしゃっていたので、再来年度に期待する。これだけの計画が完成したので、ぜひ実行していただきたい。みどりで全ての都市環境が改善されるわけではないが、改善する力は持っている。区民の皆様が住んでいてよかったと満足していただける江東区にしていきたい。それぞれの立場で今後ともご協力をお願いしたい。

一以上